

2026 年 7 月 17 日

りそなアセットマネジメント株式会社

OECD「持続可能な化学への資金供給に関するワークショップ」に当社社員が登壇

りそなアセットマネジメント(代表取締役社長 西山 明宏、以下「当社」)の社員が、2026 年 6 月 29 日から 30 日にかけてフランス・パリの OECD 本部で開催された「[OECD Workshop on Financing Sustainable Chemistry](#)」に登壇しました。(ワークショップ全体のアジェンダについては、最終ページをご参照ください。)



当社社員は、セッション5「Emerging Financing Initiatives, Investor Perspectives, and Policy Directions (新たな資金調達イニシアチブ、投資家の視点、政策の方向性)」において、機関投資家の立場から持続可能な化学分野への投資促進に向けた課題や展望について意見を述べました。

本ワークショップは、気候変動対策などの分野で発展してきた「グリーンファイナンス・投資(GFI)」の経験を踏まえて、「より安全で持続可能な化学物質」への投資拡大をテーマに開催されたものです。政策当局、金融機関、企業、国際機関など幅広い関係者が参加し、持続可能な社会の実現に向けた資金循環のあり方について議論が行われました。

当社社員が登壇したセッションでは、政策当局、機関投資家、化学関連会社の実務者が集まり、これまで活用されてきた資金調達手法や投資事例、今後の投資拡大に向けた課題について議論しました。その後、機関投資家が認識するリスクや機会に加え、化学物質による環境・健康リスク低減に向けた政策的支援や市場環境の整備についても意見交換が行われました。



セッション内では、持続可能な化学分野への投資拡大に向けて、以下のような点が重要であると認識が共有されました。

- 機関投資家によるエンゲージメントや ESG 評価を通じて企業の取組を後押しし、より安全で持続可能な製品・技術の普及につなげること
- 企業による情報開示や透明性の向上を進めるとともに、機関投資家がリスクと機会を適切に評価できる仕組みを整備すること
- 政策当局、金融機関、産業界が連携し、持続可能な化学分野への投資を促進する環境整備を進めること

当社は今後も、機関投資家としての知見を活かしながら、持続可能な社会の実現に貢献する責任投資活動を推進するとともに、国内外の議論への参画を通じて社会課題の解決に取り組んでまいります。

- (ご参考)ワークショップ全体のアジェンダ

アジェンダ

セッション1	投資のための持続可能な化学の範囲と枠組み
セッション2	グリーンファイナンス・投資(GFI)の経験
セッション3	より安全な化学の開発と資金調達における課題の概要
セッション4	持続可能な化学への投資障壁と潜在的な機会
セッション5	新たな資金調達イニシアチブ、投資家の視点、政策の方向性
セッション6	GFIの教訓活用と投資の今後の方向性
セッション7	持続可能な化学への投資の支援

以上

